

なくなってきた。もう源頭の湧水が近くなっているという感じ。案の定、次の4m滝を直登したらまもなく湧水地点に出た。遡行終了11:20。 (記・

[タイム] 中俣出合(10:25)→中俣終了(11:20)

極楽沢右俣 1989年9月9日

12:00右俣の遡行開始。左岸を林道が並行して走っているが、この林道はすっかり荒れてしまっている。林道上を歩くのに、ヤブこぎに近い状態になるほどである。平凡なままの沢を20分程遡ると林道終点。ここまできると水量もかなり減ってきていたので、この沢は完全にハズレだと思ったら、この先急に暗い沢筋となり、深いV字谷を形成して滝が出てきた。まず4mナメ状の滝。右岸を楽に直登できる。そしてその先にも小滝があり、うれしくなる。ここがこの沢の核心部である。

やがて左岸が造林地となり、続いて右岸も造林地となる。もう1度暗い廊下状部分があり、小滝をかけるが、そのあと沢はますます細くなってゆく。

12:35、やぶがかぶさってきた。水量もめっきり減ってきており、ここで終了とする。

[タイム] 右俣出合(12:00)→右俣終了(12:35)

